

# メイク用品やアクセサリで起こる皮膚トラブル

指導 藤田医療大学 ばんだね病院 総合アレルギー科 教授 矢上 晶子 先生

メイク用品や金属のアクセサリなどにふくまれる成分が皮膚を刺激して、はだあれやアレルギーなどの皮膚トラブルを起こすことがあります。

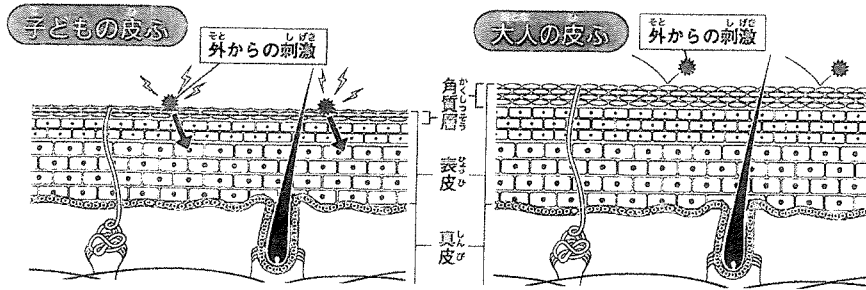
子どもの皮膚は大人に比べて未熟なため、原因となる成分の刺激を受けやすい状態です。将来メイクなどができなくなってしまうように、小学生のうちにはメイクでおしゃれをするよりも、健康な皮膚を保つことを心がけましょう。



\*そのほか、石けんやシャンプーなどが原因となることもあります。

## 刺激による はだあれ

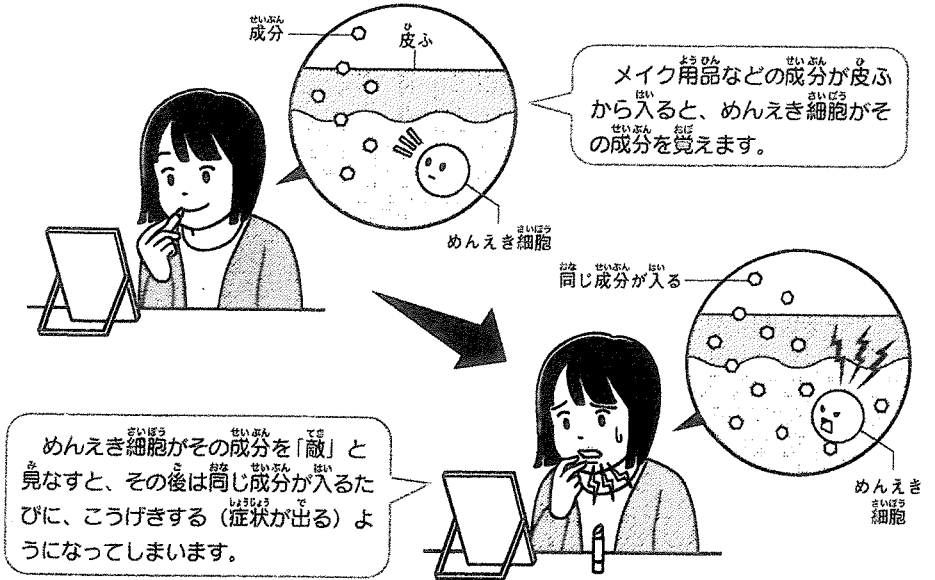
子どもの皮膚は、まだ未熟で、皮膚を守る働きをする角質層が大人に比べてうすいため、外からの刺激を受けやすく、あれやすい状態です。



メイク用品や金属のアクセサリなどにふくまれる成分のうち、刺激の強い成分にふれてすぐにはだあれを起こす場合と、弱い成分にくり返しふれることであれてしまう場合があります。

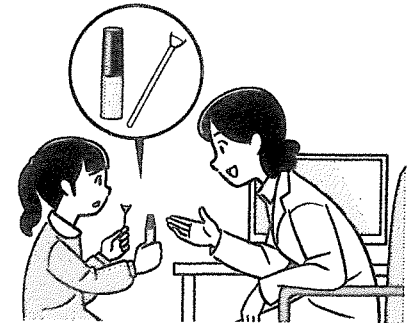
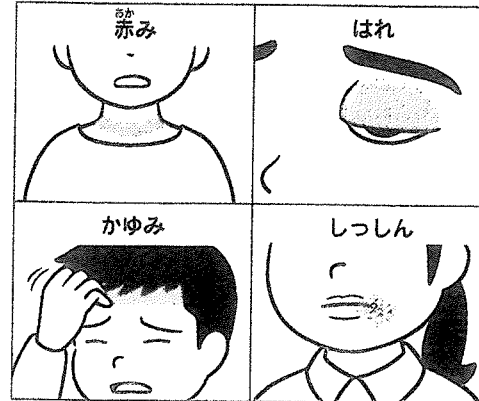
## 成分に反応したアレルギー

私たちの体には、病気などを引き起こすと思われるものから身を守る「めんえき」という仕組みがあります。アレルギーは、この働きを行うめんえき細胞が、メイク用品などにふくまれる成分を「敵」と見なすことで起こります。数回使って問題がないものでも、アレルギーの症状はとつ然出ることがあり、一度出ると、大人になってからも同じ成分にふれるたびに発症するようになります。



## 異常を感じたら、使用をやめて病院へ

メイク用品やアクセサリなどの皮膚にふれる製品を使った後に、赤みやかゆみ、はれなどの異常を感じたら、すぐに使用をやめ、大人に伝えて病院へ行きましょう。



原因と思われるメイク用品などを病院へ持っていき、治りょうに役立ちます。